

からだを守るしくみ - 二つの防衛システム

からだは「異物」が入ってくるとからだの外へ追い出そうとします。「異物」とは自分ではないもの、つまりウイルス、花粉、ハウスダストなど体に入ると有害なもののことです。第一防衛軍を自然免疫、第二防衛軍を獲得免疫といいます。私たちのからだには、病気にならないための仕組みと病気と闘う仕組みが備わっています。

第一防衛軍のしごと(自然免疫)

このように、炎症を起こして
ウイルスと闘います



VS

鼻に入ると...

のどに入ると...

下気道に入ると...



鼻かぜ

鼻がつまる
くしゃみがでる
鼻水がでる



いんこうとう
咽喉頭炎

のどがとても痛くなる



急性気管支炎

次第にせきが激しくなり
せきとともに痰がでる

第二防衛軍のしごと(獲得免疫)

風邪ひきを起こすウイルスは 200 種類以上あるといわれています。のどや鼻でウイルスが増殖して暴れだすようになると、いよいよ第二防衛軍の出動です。

第一防衛軍は入ってきた敵の情報を第二防衛軍に伝えます。この情報をもとに第二防衛軍は武器(抗体)を使ってウイルス軍と激しい戦闘を行います。熱を出したり、せきや痰を出してウイルス軍の働きを妨げ、追い出そうとします。苦しい色々な症状は防衛軍の闘いの結果なのです。風邪をひいてしまった時は、ゆっくり休んで防衛軍を助けてあげてください。

